



問題①

## 学習の遅れ

思春期病棟に入院する子どもたちは  
身体的には元気なことが多い。  
しかし、勉強する機会が少ない。

- 学習の遅れ
- 復学の不安



目的①

## 学習機会の提供

大学生が病棟を訪問し、  
勉強する機会を提供。  
学習の遅れを最小限にし、復学促進。

子どもたちが持ってくる宿題や病棟にある問題集を使用。

### 精神科病棟で家庭教師

精神科思春期病棟で  
週1~2回  
1回1時間



Yamanashi  
Child University

問題②

## セルフ イメージ 欠如



病気と生活が関係している。  
良いセルフイメージを描けない子どもが多い。

- 再発、治療抵抗性。

目的②

## セルフ イメージ 形成



自習ではなく、子どもたちとの  
コミュニケーション中心。  
勉強を通して、子どもたちに  
成功体験を積ませてあげる。  
→ 良いセルフイメージの形成

2015.3

■ 病棟スタッフとの協力

精神科専門医との勉強会を開始。  
子どもたちと大学生の安全確保と  
効果的な活動の展開。

■ 医 + 教で活動

医学部生と教育学部生が  
お互いの専門を生かす。  
大学での学びを  
地域社会に還元。

2015.7

2018.4

■ 豊富な活動実績

4年間で400回以上  
子どもたちと勉強。

■ 大学との協力

医学部のHPにリンクを掲  
示してもらう。  
活動のアドバイスをもらっ  
ている。

2018.3

2019.7

■ 今後の活動

交通費の不安…

■ 民間との協力

自習室の無料開放。  
退院後もサポートできるよ  
うに。



YCU公式webサイト

山梨大学医学部のHPからも行けます。

山梨大学医学部のトップページ > ボランティア > YCU